



# 環境活動レポート

2016年度 (35期)

(2016年5月21日~2017年5月20日)



2017年8月20日



## 目 次

1. 事業活動の概要 . . . . . P2
2. 推進組織図および対象範囲 . . . . . P3
3. 環境方針 . . . . . P4~P5
4. 環境目標 . . . . . P6
5. 環境活動計画 . . . . . P6~P7
6. 環境目標と実績 . . . . . P8~P9
7. 環境活動の取組みと評価 . . . . . P10
8. 環境関連法規制の順守状況の確認及び評価の結果  
並びに違反、訴訟等の有無 . . . . . P11
9. 代表者による全体の評価と見直し記録 . . . . . P12

## 1. 事業活動の概要

### (1) 事業所名 および 代表者名

株式会社ダイワ  
代表取締役社長 上條 孝俊  
創業 1981年6月  
設立 1983年4月

### (2) 所在地

【本社・工場】 〒399-0033 長野県松本市大字笹賀 7824  
URL <http://www.da-i-wa.com/>  
【東北信営業所】 〒381-0015 長野県長野市石渡 36-10  
\*平成29年9月 須坂市に移転計画

### (3) 事業活動の内容

プラスチック素材の卸販売、プラスチック樹脂切削加工製造

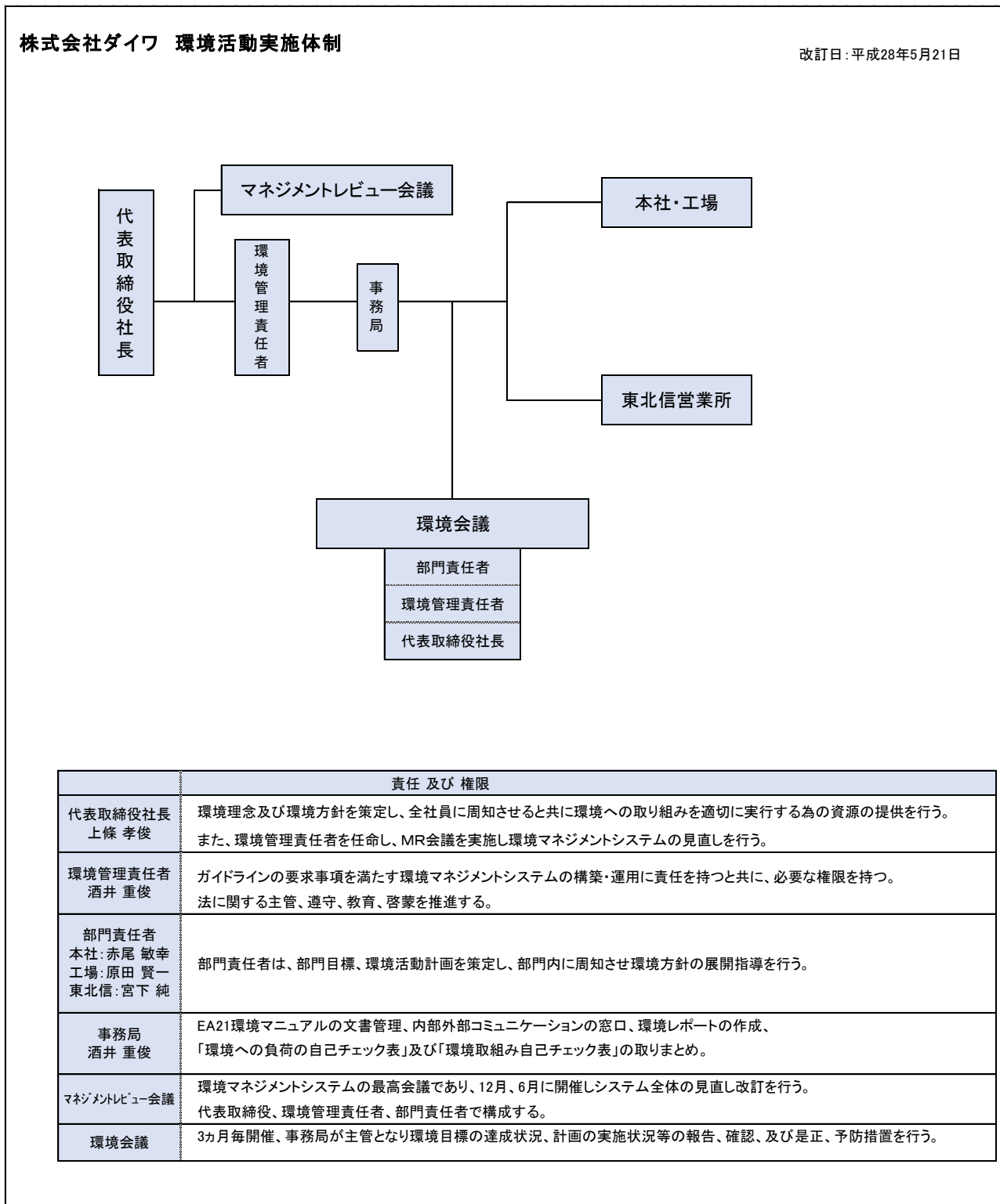
### (4) 事業の規模

| 活動規模 | 本社・工場<br>東北信営業所      |
|------|----------------------|
| 資本金  | 3000万円               |
| 売上高  | 13億6900万円 (H28年度)    |
| 従業員  | 58名                  |
| 床面積  | 2,803 m <sup>2</sup> |

### (5) 環境管理責任者及び事務局担当者

環境管理責任者 : 酒井 重俊  
EA21 事務局 : 酒井 重俊  
連絡先 : TEL 0263-24-1020 FAX 0263-24-1022

## 2. 推進組織図および対象範囲



### 3. 環境方針

## 環 境 方 針

### 環境理念

株式会社ダイワはこの美しい緑、水、空気を愛し、環境保全の取り組みが重要であると認識し、産業資材販売・プラスチック加工等の事業活動及び製品・サービスを通じて二酸化炭素の低減を図り、かけがいのない地球を健全な状態で次世代に引き継ぐために、「地球環境と企業活動との調和」を保ち、社員一丸となって環境保全活動を推進します。

### 行動指針

エコアクション21に準拠し構築した環境経営システムに基づき、全員参加による環境活動を推進し、地球環境の保全に取り組みます。

1. 資源、エネルギー等の効率的な活用  
水や電気、化石燃料等の消費による環境への負荷、資源枯渇等を認識し省資源、省エネルギーの推進を図ります。
2. 産業廃棄物の削減と再資源化の推進  
産業廃棄物の削減や不要物の分別、再資源化を推進し、廃棄量の最小化と適正処理を進める。
3. 化学物質による環境汚染の未然防止  
有害な化学物質類の購入、使用廃棄等にあたって、製品安全データシート(MSDS)を活用し、適正管理運用等による環境汚染の未然防止に努めます。
4. 環境関連法規等の遵守  
事業活動に関わる環境関連法、条例、協定等、当社が決めたその他の要求事項を遵守します。
5. 全員参加による地球環境保全への実践  
全ての社員が環境問題の現状や環境経営の意義、組織の環境方針を理解し、自ら積極的に、実践するための周知を行います。  
また、よき企業市民の一員として、地域社会の貢献に努める。
6. 有害物質の低減  
RoHS、REACHに対応した製品を購入し、環境へ配慮する。
7. グリーン購入やグリーン調達  
グリーン購入やグリーン調達による省資源の徹底に努める。

8. 環境へ配慮した製品の販売促進

環境へ配慮した製品の提案営業を行い、販売促進に努める。

環境方針及び環境理念は、全従業員に周知徹底させる。

要求により一般の人々も入手出来るようにする。

改定日：平成25年1月15日



代表取締役社長

上條 孝俊

## 4. 環境目標

| 項目                    |  | 2016年<br>(35期) | 2017年<br>(36期) | 2018年<br>(37期) |
|-----------------------|--|----------------|----------------|----------------|
| 電力                    | 使用量 (kwh)                                    | 402476         | 398411         | 394346         |
| ガソリン                  | 使用量 (ℓ)                                      | 23423          | 23186          | 22950          |
| 軽油                    | 使用量 (ℓ)                                      | 19994          | 19792          | 19590          |
| 灯油                    | 使用量 (ℓ)                                      | 5976           | 5916           | 5856           |
| CO2 排出量 合計 (kg-co2)   |  | 329307         | 325981         | 322655         |
| 廃棄プラスチック              | 排出量 (kg)                                     | 14483          | 14337          | 14191          |
| 可燃ごみ                  | 排出量 (kg)                                     | 881            | 872            | 863            |
| 水道                    | 使用量 (m <sup>3</sup> )                        | 692            | 692            | 692            |
| グリーン購入<br>販売サービスの環境配慮 | エコマーク商品購入比率を向上させる<br>RoHS/REACH 対応の材料購入を継続する |                |                |                |

中部電力の CO2 排出係数は 0.516  
(H25 年度より 5 年間は 0.516 を適用する)

## 5. 環境活動計画

### 1. 電力

- ◆ 半年に一度のエアコンフィルター掃除
- ◆ 半年に一度の蛍光管掃除
- ◆ 室内の温度管理→冷暖房 ON/OFF
- ◆ 不良発生率の削減

### 2. ガソリン・軽油

- ◆ 配送の効率的な配車、計画的な営業活動
- ◆ アイドリングストップ
- ◆ エコドライブの心がけ
- ◆ エコカー導入の検討

### 3. 灯油

- ◆ 室内の温度管理→冷暖房 ON/OFF
- ◆ クールビズ・ウォームビズの実施
- ◆ 時間外勤務時間の削減

### 4. 水道

- ◆ 検針メーター使用量のチェック

### 5. 廃棄プラスチック

- ◆ リサイクルプラスチックと廃棄プラスチックの分別
- ◆ 端材の有効活用

6. 可燃ごみ

- ◆ 使用済の紙をリサイクル用 BOX へ収納
- ◆ 段ボール、新聞紙、古紙は回収業者へ引き渡し

7. コピー用紙

- ◆ 裏紙使用推進

8. グリーン購入

- ◆ 事務用品のエコマーク商品購入の推進

9. 環境配慮製品の販売

- ◆ RoHS、REACH に対応した材料の購入

上記活動計画は 2014 年～2016 年の活動計画とする



## 6. 環境目標と実績

| 項目         |                     | 2016年<br>(35期) | 達成     |      |
|------------|---------------------|----------------|--------|------|
| 電力         | 使用量 (kWh)           | 目標             | 402476 | 117% |
|            |                     | 実績             | 472960 |      |
|            | 原単位<br>(kWh/1000万円) | 目標             | 2981   | 116% |
|            |                     | 実績             | 3455   |      |
|            |                     | 前年度比           | 113%   |      |
| ガソリン       | 使用量 (ℓ)             | 目標             | 23423  | 108% |
|            |                     | 実績             | 25464  |      |
|            | 原単位<br>(ℓ/1000万円)   | 目標             | 174    | 107% |
|            |                     | 実績             | 186    |      |
|            |                     | 前年度比           | 104%   |      |
| 軽油         | 使用量 (ℓ)             | 目標             | 19994  | 86%  |
|            |                     | 実績             | 17131  |      |
|            | 原単位<br>(ℓ/1000万円)   | 目標             | 148    | 84%  |
|            |                     | 実績             | 125    |      |
|            |                     | 前年度比           | 82%    |      |
| 灯油         | 使用量 (ℓ)             | 目標             | 5976   | 115% |
|            |                     | 実績             | 6874   |      |
|            | 原単位<br>(ℓ/1000万円)   | 目標             | 44     | 114% |
|            |                     | 実績             | 50     |      |
|            |                     | 前年度比           | 110%   |      |
| CO2 排出量 合計 |                     | 目標 kg-co2      | 329307 | 111% |
|            |                     | 実績 kg-co2      | 365253 |      |
| 廃棄プラスチック   | 排出量 (kg)            | 目標             | 14483  | 77%  |
|            |                     | 実績             | 11200  |      |
|            | 原単位<br>(kg/1000万円)  | 目標             | 107    | 77%  |
|            |                     | 実績             | 82     |      |
|            |                     | 前年度比           | 75%    |      |
| 可燃ごみ       | 排出量 (kg)            | 目標             | 881    | 114% |
|            |                     | 実績             | 1006   |      |
|            | 原単位<br>(kg/1000万円)  | 目標             | 7      | 105% |
|            |                     | 実績             | 7.3    |      |
|            |                     | 前年度比           | 114%   |      |

|    |                                 |      |     |     |
|----|---------------------------------|------|-----|-----|
| 水道 | 使用量 (m <sup>3</sup> )           | 目標   | 692 | 79% |
|    |                                 | 実績   | 545 |     |
|    | 原単位<br>(m <sup>3</sup> /1000万円) | 目標   | 5   | 80% |
|    |                                 | 実績   | 4   |     |
|    |                                 | 前年度比 | 77% |     |

中部電力の CO2 排出係数は 0.516  
(H25 年度より 5 年間は 0.516 を適用する)

## 7. 環境活動の取り組みと評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 取り組み                       | 達成状況 | 評価 (結果と次年度の取組み)   |
|----------------------------|------|---|
| <b>電力によるCO2 排出量の削減</b>     |      |   |
| ・半年に1度のエアコンフィルター掃除         | ◎    | 内作率向上による生産高アップは計画通りに進んでいるので、再度製造工程の見直しや不良発生率削減対策も更に進めていく。                   |
| ・半年に1度の蛍光管の掃除              | ◎    |   |
| ・室内温度管理→冷暖房のON/OFF         | △    |   |
| ・不良率削減                     | ○    |   |
| <b>自動車燃料によるCO2 排出量削減</b>   |      |   |
| ・計画的な営業と配送                 | ◎    | 営業活動に成果が出てきているので、更に計画的な戦略展開を行う。<br>トラックの不具合が発生している傾向にあるので、車輛メンテは特にこまめに実施する。 |
| ・アイドリングストップ                | ◎    |   |
| ・エコドライブ(急発進しない、エアコン控える)    | ○    |   |
| ・日常的なメンテナンスの実施             | ○    |   |
| <b>灯油使用量削減</b>             |      |   |
| ・室内温度管理→冷暖房のON/OFF         | ○    | 業務の効率化を進めることによって時間外勤務を削減できることに繋がるので、継続して取組みを行う。                             |
| ・時間外勤務時間の削減                | ○    |   |
| <b>廃棄プラスチック排出量削減</b>       |      |   |
| ・リサイクルプラスチックと廃棄プラスチックの分別徹底 | ○    | 分別意識は定着されている。<br>端材の管理共有化を継続して行う。   |
| ・端材の有効活用                   | ○    |   |
| <b>可燃ごみ</b>                |      |   |
| ・使用済の紙をリサイクルBOXへ収納         | △    | 工場の排出量が増加している様子。<br>各部門で分別の仕方を再度検討する。                                       |
| ・段ボール、新聞紙、古紙は回収業者に引き渡し     | ○    |   |
| <b>節水</b>                  |      |   |
| ・検針メーター使用量のチェック            | ○    | 維持管理項目に位置づけているが、節水意識は定着されている。検針メーターチェックは継続して行っていく。                          |
| <b>グリーン購入の推進</b>           |      |   |
| ・事務関連備品を優先的に購入             | ○    | IT商品と価格の両面を考慮して購入比率を上げていくことに心掛ける。   |
| <b>環境配慮製品の販売・提案・サービス</b>   |      |   |
| ・環境配慮型商品に関する情報提供と提案        | ◎    | 販売商品については、全て環境配慮型商品であった。<br>今後も得意先の要望にこたえて行く。                               |

・36期への取組み内容を精査して、指針を明確に表記します。

## 8. 環境関連法規制の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

| 適用法                 | 法規制対象                         | 対象作業   | 評価結果                  |
|---------------------|-------------------------------|--|-----------------------|
| 廃掃法                 | 廃棄物管理                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物収集運搬・処理での契約の締結</li> <li>置場には法定の60×60cmの掲示板設置</li> <li>廃棄物保管基準の順守：飛散、漏洩、土壌汚染がないように保管する</li> <li>マニフェストの発行と保管</li> <li>マニフェスト返却なき場合、県に報告<br/>①B2,D票90日②E票180日</li> <li>マニフェスト交付状況報告を、毎年6月末までに県に報告する</li> </ul> | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ |
| 消防法                 | 危険物第4類 灯油<br>消火設備の設置<br>指定可燃物 | <ul style="list-style-type: none"> <li>指定数量の1/5以上、指定数量未満は少量危険物の届出を行う</li> <li>消防設備の点検(年1回)</li> <li>指定可燃物を5倍以上貯蔵する場合は、消防署長に届出する</li> <li>合成樹脂類は3tであるので、15t以上の場合は届出を行う</li> </ul>   | ○<br>○<br>○<br>○      |
| 下水道法                | 下水道                           | 下水の排出油、廃液等不適切なものを廃棄しない   | ○                     |
| 家電リサイクル法            | 家電製品                          | 家電リサイクル券を発行し、指定業者へ持ち込みする   | ○                     |
| RoHS<br>REACH<br>規制 | 樹脂材料・製品                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>特定有害物質を含む原材料の使用を制限する</li> <li>原材料メーカーから不使用証明書または、化学物質調査報告書等が発行してもらう</li> </ul>  | ○<br>○                |
| フロン<br>排出抑制<br>法    | 空調機器                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>四半期に1度目視による外観点検を行う。</li> <li>3年に1回業者による定期点検を行う。</li> </ul>  | ○                     |

上記の法が適用され、順守状況の評価の結果、環境関連法規制等は順守されていました。  
なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し

35 期は前期からの継続事項として、工場の内製化を更に進めて生産高を上げて行くことを重点計画とし、目標計画に基づいて営業・生産活動の改善取組みに力を集中することができました。環境活動とリンクする業務改善等で得た成果や、設備投資や適正人員の配置、またコスト意識を更に高めて取り組んだ結果、業績目標達成することができました。

来期も事業計画アクションプランの取組みと環境活動をリンクさせながら、更に成果の上がる環境経営システムを創り上げていくことを求めます。